



第三次 富士市環境基本計画

2021

～富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち～



富士市環境基本計画とは

「富士市環境基本計画」は、豊かな環境を継承し、自然と人との共生や環境負荷の少ない社会を実現するため、富士市の環境像や将来像を示し、目標や施策の方向性を定めています。



計画の位置づけ

「富士市環境基本条例」第8条に基づき策定します。
「富士市総合計画」を環境面から実現する、環境行政の最上位計画です。

計画の期間

2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間とします。

計画の進行管理

PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルに基づき、適切に計画の推進管理を行います。

計画の推進体制

市民・事業者・市がそれぞれの役割を果たし、協働して環境活動に取り組みます。

富士市の環境の現状と課題

生物多様性



- 約5,900種の生物が確認され、富士山や浮島ヶ原などには貴重な生態系が残っています。
- 「生物多様性」という言葉が、まだ市民・事業者のみなさんに浸透していません。
- 市内の生物情報の収集・活用、重要種の保護・保全、外来種や野生鳥獣への対策、生態系の保全を図るほか、生物多様性に関する情報提供や普及啓発が必要です。

地球温暖化



- 産業部門からの温室効果ガス排出量が全体の約75%を占めるほか、交通手段は自動車の分担率が約70%と高くなっています。
- 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進など、温暖化対策の浸透を図るほか、森林の適正管理や緑化の推進が必要です。

生活環境



- 大気汚染や水質汚濁は概ね改善傾向ですが、150件/年程度の公害苦情があります。
- 生活や産業を支えている豊富で良質な地下水があります。
- 光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）、悪臭への対策のほか、河川・排水路の水質監視や下水道や合併処理浄化槽の整備、地下水・湧水を保全する必要があります。

廃棄物・環境美化



- ごみ排出量は減少傾向にありますが、可燃ごみの約30%は生ごみが占めています。
- 山間地や海岸周辺を中心として不法投棄が多く見受けられます。
- ごみの排出量を減らすとともに、新環境クリーンセンターの運用及び活用、不法投棄への対策、「富士市マナー条例」の普及が必要です。

富士・愛鷹山麓地域の環境



- 「富士・愛鷹山麓地域環境管理計画」を策定し、富士・愛鷹山麓地域の豊かな自然環境の保全や創造、節度ある利用を図っています。
- 「富士・愛鷹山麓地域環境管理計画」に基づく適正な土地利用の誘導、「富士市富士・愛鷹山麓地域の森林機能の保全に関する条例」に基づく森林の公益的機能の保全が必要です。

パートナーシップ



- 学校や市民向けの環境教育・環境啓発活動を実施するとともに、環境に対して高い知見を有する方を登録・派遣する「富士市環境アドバイザー制度」を実施しています。
- あらゆる世代・場所における環境教育・環境学習の機会づくり、環境アドバイザー制度の活用の推進、分かりやすい環境情報の提供が必要です。

望ましい環境像（2050年度）

「富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち」

富士山の恵みをみんなが認識し、地域内での資源や人のつながりを大切にすることで、環境が守られ、それによって社会や経済も発展をしている「地域循環共生圏」の構築を目指します。



目指す将来像（2030年度）

望ましい環境像を実現するための第一段階として、「ふじ・水循環共生圏 2030」の構築を掲げ、本計画が2030（令和12）年度に向けて目指す将来像とします。



～ふじ・水循環共生圏 2030～



地下水、湧水、河川、海洋といった豊かな水資源を基盤に発展した本市は、これらの水循環を将来に渡って維持することで水資源を保全するとともに私たちの暮らしや産業の発展、生物多様性の保全も同時に実現するまちを 2030 年に目指す将来像とし、市民・事業者・市が協働で水に関する取組を実施します。



計画の全体像

望ましい環境像 (2050 年度)

富士山の恵みを、みんなで守り、育て、



目指す将来像 (2030 年度)

ふじ・水循環共生圏2030

【基本目標】

1

〈生物多様性〉

いきものと深くつながり
めぐみあふれるまち

(生物多様性ふじ戦略)

環境目標

生物多様性の言葉の認知度

2025 年度 : 50%
2030 年度 : 70%

個別分野

- ① 多様な生物について知る
- ② 多様な生物や生態系をまもる
- ③ 生物多様性に配慮した社会をつくる



【基本目標】

2

〈地球温暖化〉

気候変動に対応し
脱炭素を目指すまち

(富士市地球温暖化対策
実行計画 (区域施策編))

環境目標

温室効果ガス排出削減量

(2013 年度比)
2025 年度 : 9.5%
2030 年度 : 19%

個別分野

- ① 再生可能エネルギーをつかう
- ② 脱炭素を目指して行動する
- ③ 地域環境にやさしいまちをつくる
- ④ 資源を循環させる



【基本目標】

3

〈生活環境〉

環境負荷の少ない
快適に過ごせるまち

環境目標

環境基準達成状況

2025 年度 : 100%
2030 年度 : 100%

個別分野

- ① 空気をきれいにする
- ② きれいな水を大切にする
- ③ 快適な暮らしを守る



具体的な

ともに生きるまち

個別分野に対応する SDGs (持続可能な開発目標) の 17 のゴールをロゴマークで示しています。



【基本目標】

4



〈廃棄物・環境美化〉

資源を有効に活用する
ごみのない美しいまち

環境目標

ごみの総排出量

2025 年度：73,200t
2030 年度：70,200t

個別分野

- ①ごみを減らす
- ②ごみを適正に処理する
- ③美しいまちにする



【基本目標】

5



〈富士・愛鷹山麓の環境保全〉

富士・愛鷹山麓からの
恵みを大切にするまち

(富士・愛鷹山麓地域
環境管理計画)

環境目標

森林の創造面積

2025 年度：11.3ha
2030 年度：23.2ha

個別分野

- ①富士・愛鷹山麓の環境を
継承する



【基本目標】

6



〈パートナーシップ〉

協働の輪を広げ
環境を考え行動するまち

環境目標

複雑多岐にわたる環境問題を
解決するため、市民・事業者・
市のあらゆる主体の協力体制を
構築し、協働で「目指す将来像」
の実現に取り組みます

個別分野

- ①環境を学び広げる
- ②協働の輪を広げる



市民・事業者のみなさんへ

本計画を推進し、2030年度の目指す将来像、2050年度までの望ましい環境像を実現していくためには、市民や事業者のみなさんの協力と実践が必要です。本市の環境のためにできることを考え、行動しましょう。



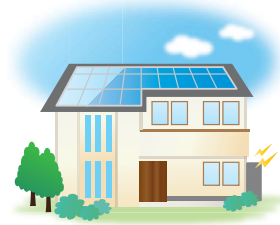
生物多様性について知り、学ぶ機会を持ちましょう。



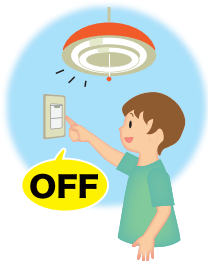
外来種の拡大を防ぎましょう。



環境ラベルを参考に商品を選びましょう。



太陽光発電システムを設置しましょう。



クールチョイスに賛同し、環境にやさしい賢い選択をしましょう。



敷地内を緑化しましょう。



低燃費車・クリーンエネルギー自動車を利用しましょう。



節水型商品の利用を進めましょう。



音響機器の音量やペットの鳴き声で、近隣に迷惑をかけないようにしましょう。



リサイクルショップやフリーマーケットを利用しましょう。



産業廃棄物は最終処分まで責任を持って処理しましょう。



空き缶やタバコ、ペットのふんの始末などマナーを守りましょう。



富士・愛鷹山麓地域における開発は、極力避けましょう。



「広報ふじ」やウェブサイトなどにより環境情報を得ましょう。



環境美化活動などに積極的に参加しましょう。



このほか、計画書では、土地利用に係る環境配慮指針として、自然環境や開発における配慮事項も示しています。

第三次富士市環境基本計画 【概要版】

2021年(令和3年)3月

富士市行政資料登録番号
R2-50

富士市環境部環境総務課

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地 TEL 0545-55-2901
URL : <https://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

※「第三次富士市環境基本計画」の本編は、市ウェブサイトや市役所、市立図書館などでご覧ください。

このパンフレットは、印刷用の紙にリサイクルできます。